

2018年(平成30年)4月17日(火曜日)



## 源兵衛川 世界水遺産に

### 三島農業用水路、400年活用続く

市民らが参画して保全・管理されている三島市の源兵衛川が、世界水会議(本部・フランス)の世界水遺産に登録された。同遺産には、歴史的な水管理システムや組織、規約が無形遺産として登録される。申請した関係者が16日、県庁に川勝知事を訪ねて登録を報告した。

▲ 世界水遺産に登録された  
源兵衛川(三島市で)

登録されたのは「パートナーシップによる源兵衛川の管理・再生システム」。源兵衛川は、室町時代に地元有力者・寺尾源兵衛が開削した農業用水路で、完成から400年以上が経過した今も活用されている。都市化により水質が悪化した時期もあったが、市民や行政などが一体となって保全活動を行い、清流を復活させた。

源兵衛川の保全に取り組んできたNPO法人「グラウンドワーク三島」の渡辺豊博専務理事は、「源兵衛川を含め、連携して地下水、湧水を世界文化遺産にでき

ないかと考えている」と、抱負を語った。